常任・議会運営・特別委員会等委員名簿

(◎=委員長 ○=副委員長)

(平成26年10月15日現在)

会派名	総 務 委員会	市民環境 委員会	教育民生 委員会	建設経済 委員会	議会運営 委員会	放射能等災害 対策特別委員会	下総基地 特別委員会	決算審査 特別委員会	議会広報 委員会
柏清風(11人)代表:山中一男	村田章吾山中一男	助川忠弘 日暮栄治 山内弘一	◎小島晃治 ○円谷憲人 山田一一	◎石井昭一 後藤浩一郎 古川隆史	小島晃治 助川忠弘 古川隆史 山内弘一 ◎山田一一	〇後藤浩一郎 日暮栄治 山内弘一 山田一一	石井昭一 小島晃治 古川隆史 ◎村田章吾	後藤浩一郎 助川忠弘 円谷憲人 村田章吾	石井昭一 ◎助川忠弘 円谷憲人
公明党(7人) 代表:橋口幸生	小泉文子 田中 晋	◎塚本竜太郎 林 伸司	中島 俊	小松幸子 橋口幸生	田中 晋 〇橋口幸生 林 伸司	◎小泉文子 小松幸子	塚本竜太郎 〇中島 俊	塚本竜太郎 中島 俊	小松幸子 塚本竜太郎
日本共産党(4人) 代表:渡部和子	〇日下みや子	武藤美津江	平野光一	渡部和子	平野光一 渡部和子	武藤美津江	日下みや子	武藤美津江	渡部和子
護憲市民会議(2人) 代表:末永康文		末永康文	本池奈美枝		末永康文	末永康文	本池奈美枝	◎本池奈美枝	〇本池奈美枝
柏愛倶楽部(2人) 代表:永野正敏	◎永野正敏			〇山下洋輔	永野正敏	山下洋輔	永野正敏	山下洋輔	永野正敏
市民サイド(2人) 代表:宮田清子		〇宮田清子		松本寛道	宮田清子	宮田清子	松本寛道	宮田清子	松本寛道
未来会議柏(2人) 代表:海老原久恵		長瀬慈村	海老原久恵		海老原久恵	海老原久恵	長瀬慈村	〇長瀬慈村	
政和会(2人) 代表: 坂巻重男	坂巻重男		上橋 泉		坂巻重男	上橋泉	上橋泉		上橋泉
新世柏(2人) 代表:市村衛	市村衛		中村昌治		市村 衛	市村衛	中村昌治		
無所属(1人)	内田博紀								
合 計	9	9	9	8	16	13	13	11	10



続いて議員選出監査委員の山村昌治氏が第62代副議長に、中村昌治氏が第62代副議長に、中村昌治氏が第62代副議長に、中村のでれ選出されました。投票の結果、

一一氏及び末永康文氏の辞

氏

海老原久

挙が行われました。投票の結果、 に同意しま辞職に伴い、後任の正副議長選 議案につい中晋議長及び小島晃治副議長の 任することを例会初日の9月5日に、田 恵氏を議員

議案について採決を行い、これに同意しました。 また今定例会では、常任委員会、議会運営委員会、特別委員会で正副委員長の互選等が行われました。各委員会の委員構成れました。各委員会の委員構成れました。各委員会のとおりです(平成26年10月15日現在)。

議案について採決を行い、これ任することに同意を求める追加 任することに同意を求める追加

委員金視察

下総基地特別委員会 ●7月9日・10日

【視察地・視察項目】

- ◎八戸市(青森県)基地対策及び基地周辺整備について
- ◎八戸航空基地(青森県)基地の概要について
- ◆ 八戸市は、八戸市役所から直線で 約4kmと極めて近い距離に八戸航空 基地を有している。同市では、基地 対策に関わる組織として、青森県、 周辺市町村、警察、消防、東北防衛 局とともに「八戸飛行場周辺航空事 故連絡協議会」を結成しており、会 合は年に1回開催され、八戸飛行場 についてさまざまな協議を行っている。

直近の事故については、平成25年 9月にP-3Cの衝突防止灯カバーの 落下、本年4月には同じくP-3Cの救難無線装置が脱落、7月には陸上自衛隊の戦闘へリのゴム部品が落下する事故が発生している。

市民からの苦情については、過去3年間なく、特に平成25年4月10日より11月11日まで、警戒待機一時移転のため航空自衛隊三沢基地所属のF-2戦闘機4機が配備されていたが、騒音等の苦情はなかった。

また、同市から22kmにある三沢 飛行場は、航空自衛隊の基地、民間 の飛行場であるとともに、日米地位 協定により米軍も利用している。そ のため、八戸市は三沢基地の事故連 絡協議会や青森県の基地関係市町村 連絡協議会のメンバーにもなっており、 この県の連絡協議会を通じて要望活 動を行っている。

課題について、①三沢飛行場が悪 天候等で使用できない場合、八戸基 地への緊急着陸がふえるのではない かとの懸念があること②三沢基地と の距離が近く、多くの米軍関係者が 八戸市に買物や飲食で訪れるが、数 年に1度、婦女暴行や交通事故が発 生しており、治安等に課題がある。

◆ 八戸航空基地は、滑走路が長さ 2,250m、幅45mで、下総基地と同じ 規模である。主な任務は、①日本海北 部・北海道周辺の警戒監視②災害派 遣③民生協力として海氷の観測、気 象庁へのデータ提供④海外派遣とし てソマリア沖アデン湾の海賊対処活動 (P-3Cの派遣)である。

東日本大震災時の基地の対応につ

放射能等災害対策特別委員会

いて、①航空機による人命救助活動 ②基地への被災者の受け入れ(累計 約6,000人、一日最大1,000人)③航 空機等による物資の輸送(1カ月で 約90トン)④がれき撤去(20日間で ダンプカー421台分)等の復興支援 を行ったとのことであった。



P-3C哨戒機

●8月5日

決算議案は特別委員会で

9月11日の本会議において平成25年度柏市歳入歳出、柏市病院事業会計及び柏市水道事業会計の決算の認定を求める3議案を審査するため、決算審査特別委員会を設置しました(委員構成は上記委員名簿に記載)。

■決算審査特別委員会審査日程

10月27日(月)	総務委員会所管分
10月30日(木)	建設経済委員会所管分
11月 4日(火)	教育民生委員会所管分
11月 6日(木)	市民環境委員会所管分
11月18日(火)	総括審査
11月25日(火)	取りまとめ、採決

【視察地・視察項目】

- ◎大崎市(宮城県)原子力発電事業所における災害発生時の対策
- ◆ 大崎市では、福島第一原発の事故後、平成24年4月1日に放射線対策室を立ち上げ、同月12日に「大崎市放射能対策指針」を策定。翌25年には対応策の進展や新たな課題に対処するために改定し、対応してきた。また、原子力発電事業所における災害発生時の対策については、女川原子力施設から30km以上離れているため、原子力規制委員会が定める原子力災害対策指針において規定する「緊急時防護措置を準備する地域」には含まれていないが、市境から女川原発まで最も近いところで34kmの位置関係にあるため、万が一に備え、国のマニュアルを参考に、

大崎市地域防災計画に原子力災害対策について規定した。特に、災害時に住民へ情報を伝達する手段として、防災無線や広報車のほか、ラジオによる放送など多様なメディアの活用も検討している。また一部地域には既に防災無線の戸別受信機を全戸配布している。原子力発電施設からの情報収集については、現在東北電力と協定を結べ

なしま関とウ蓄ういといかにをとし素で協くで協との素連はをるしのあき議とのあい。 機携ヨ備よてこた。

